

創造主を認めよ！

～生命の不思議～

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/10/20

日本人がキリスト教を受け入れないのは

- キリスト教を高く評価している
 - 次に信じたい宗教第一位！
- 「絶対神」を認めない
 - 正典に記された神を信じている人：**3%** < 世界40%
- 八百万の神々を信じているが…
 - 八百万の神々を自分の都合で利用しているだけ
 - 神(の言葉)を認めて従うことはしない
- 仏教を受け入れたのは
 - 仏教には絶対神＝創造主は存在しない！

自分こそが神である

- 進化論は創造主を認めない格好の理屈
 - 奇跡的に生物が誕生し、長い時間のなかで奇跡が連続して自分が存在している
- 進化論(唯物論)を信じていながら、八百万の神々も信じている
 - 結局自分が神なので何でもありなのである
- 創造主を認めることは、自ら神の座から降りることを意味している
 - 誰も神の座を渡したくはない

生命の不思議① 細胞の死

• 人間の細胞は毎日死んでいる

- 人体の細胞数はおよそ37兆個、そのうち毎日約3000億個(約200g)が入れ替わっている
- それぞれの細胞は死に時を認識している
- 人間の体には時計があり、細胞にも時計がある

• 細胞の寿命

- 血液: 約120日(4ヶ月) ・ 脳・肝臓・腎臓: 約1年
- 皮膚: 約1ヶ月 ・ 胃の粘膜: 約3日
- 腸の微絨毛: 約1日 ・ 心臓の細胞組織: 約22日
- 骨: 約3ヶ月 ・ 髪の毛: 約1ヶ月

生命の不思議② 人間の死

- 細胞は毎日入れ替わっているが、全体として限界(死)がおとずれる
 - 平均寿命は延びているが、120歳ぐらいが限界
- 「プログラム仮説」
 - すべての生物には生まれて死ぬまでの時間が予めプログラムされている<誰が何のために？
- 「ヘイフリック限界」
 - 生物の体は「細胞」からできているが、「細胞分裂」の回数には限界がある(人50~60回)
 - 染色体で「テロメアの短縮」が起こっている

老化とテロメア



← 酸化ストレス
← 有害物質
← 紫外線など

} テロメア短縮を加速



若い細胞の染色体は長いテロメアを持つ



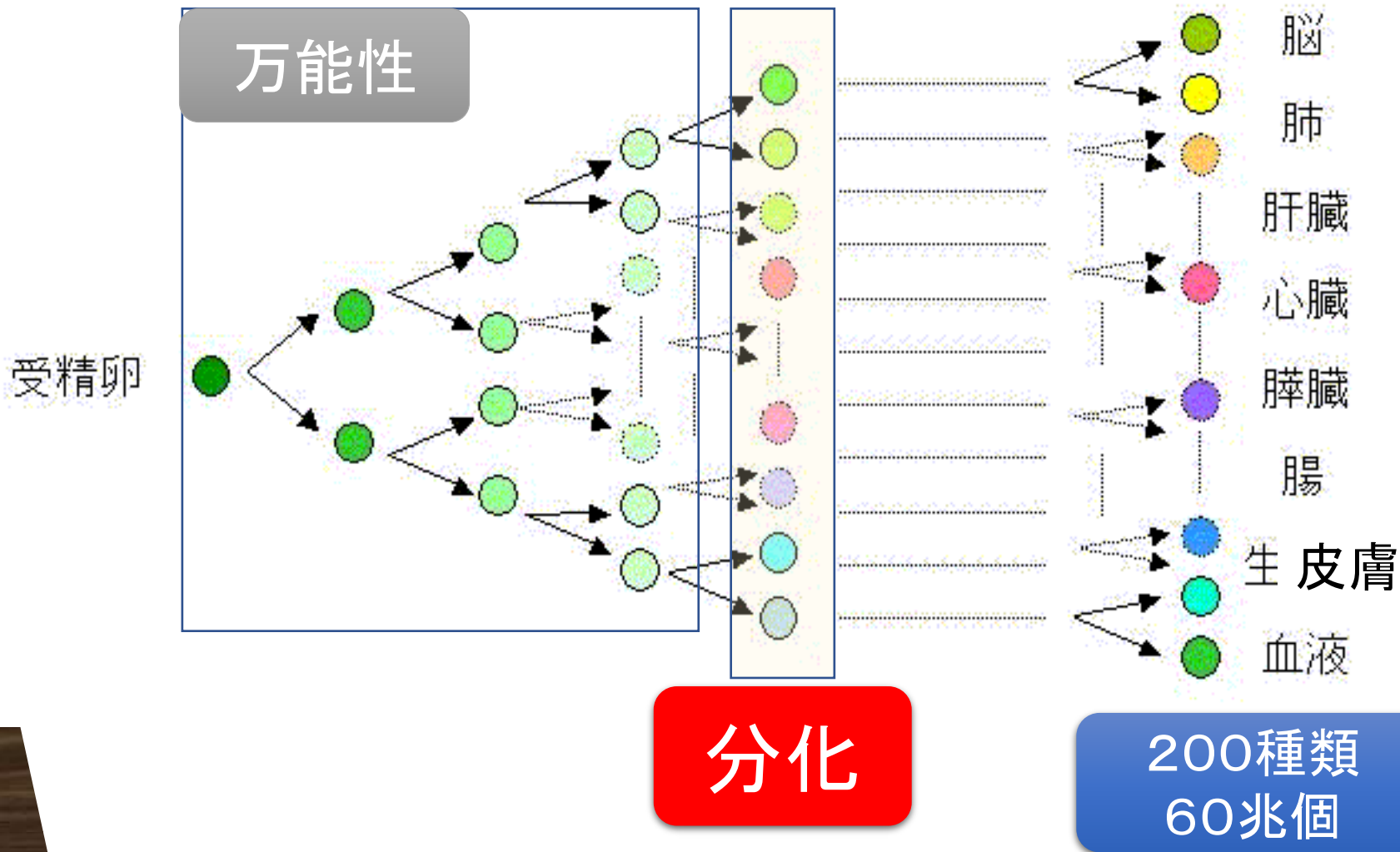
細胞分裂に伴いテロメアが短く



細胞分裂が止まる



生命の不思議③ 「分化」



生命の不思議③ 分化

- どうしてたった1つの細胞から、性質の違ういろいろな種類の細胞ができるのか？
 - すべての細胞が全く同じ染色体をコピーする
 - 指示も相談もなく、完全な調和を保って違う細胞に分かれる<皮膚・骨・筋肉・脂肪・血管・血液・神経……>
- いったん性質が決まると、元には戻らない
 - 入れ替わりながら、一生その役割を果たし続ける！
- 細胞たちには絶対に見えないのに、臓器や器官の大きさや形がどうして分かるのか？
 - ある程度の大きさになると成長を止める！
 - 右手と左手の大きさはなぜ同じなのか？

生命の不思議④ 遺伝子のスイッチ

• エピジェネティクス

- 「DNA塩基配列の変化を伴わない細胞分裂後も継承される遺伝子発現あるいは細胞表現型の変化」
- DNAの情報を入れたり切ったりするスイッチ
- 同じDNAでも環境によって性質が変わる

• 進化は起こっていない

- 進化とはDNAが突然変異して受け継がれていくことだが、エピジェネティクスはDNAは変わらず、そのスイッチのみが受け継がれていくと説明した

生命の不思議⑤ そもそも話し

•DNAというシステム

- 自らの情報を細胞内にデジタル化して(4つの塩基)保存し、それをコピーすることで情報を伝達する方式を生物はどのようにして作り出した(手に入れた)のか？

•人間もバクテリアもシステムは同じ

- 進化論において最初に生まれたとされるバクテリアでさえ、4つの塩基によるDNAを持っており、エピジェネティクスもちゃんと起こっている

創造主を認めよ！

- 生命の不思議を「長い時間」と「偶然」の産物として良いのか？
 - 「長い時間」経ってもシステムは変わらない
 - 「ミスコピー」は良いものを生まない
- 「信心こそが大切」と言うが…
 - 「山はどこから登っても同じ」と言うが、そもそも日本人は山に登ろうとしていないし、自分が山頂に立っている
- もし創造主がいるのなら
 - 日本人はこれ以上ない重大な罪を犯している

あなたは、わたしの内臓を造り
母の胎内にわたしを組み立ててくださった。
わたしはあなたに感謝をささげる。
わたしは恐ろしい力によって
驚くべきものに造り上げられている。
御業がどんなに驚くべきものか
わたしの魂はよく知っている。

詩編139篇13～14節